

寄稿 堂々たる横綱相撲を望む(上) 高宮 宏(藤島中町)

庄内日報などで健筆をふるう高宮宏氏から寄稿を戴き、2回に分けて連載します。

墮落した日本相撲協会

先場所 関脇正代は対白鵬戦で一発の張り

去年の本場所での事

手に崩れ落ちた。

だった。横綱白鵬と対

特に横綱の地位に在

戦した勢は、右から

るものが、使つてはな

の強烈な張り手と間髪

らないとされてきた醜

を置かない左からのか

い戦法を多用して、白

ち上げにたまらず、2

星を重ねる白鵬の姿は、

秒足らずで土俵に沈ん

神事でもある大相撲の

だ。

ルールを無視する捉破

決まり手は押し倒し

りとも言えよう。

と公表されたものの、

にも拘わらず、力士

解説者の元横綱北の富

としての地位が低かつ

士勝昭氏は言った。「大

た親方や協会理事たち

変な技を開発したも

は何も言えない状態が

ですね。反則ではない

が続いている。

んですからね」と。

明らかかな嘘と分かっ



元藤島町議会議員の日向宏氏(小中島)の旭日単光章受章祝賀会が10日、藤島地区活動センターで開催され、挨拶で人生を振り返り「平和こそ大切」と話されました。



鶴岡市消防団副団長の富樫正明氏(豊栄)の藍綬褒章受章祝賀会が9日、グランドエル・サンで開催されました。富樫氏は平成元年に旧藤島町消防団に入団し団歴29年。24年度から藤島方面隊長を務め、今年度から副団長に就任。(写真左:萬歳三唱の音頭をとる豊栄町内会長の石川正治氏)

ていても、誰も何も言わないのは安倍総理の国会答弁と同じで見苦しい。

私は、この問題を大手新聞社に投稿したが掲載される事はなかった。

三大新聞の一つの読者の欄に同様の意見が載った。「本当の相撲は何勝？」と題して、「勝利数は歴代単独一位だが、立ち合いでの変わり身、張り手、肘打ちに等しいかち上げで極めて不快だ。語る所、協会の体質が変わらなければ角界に明るい展望はない」というもの

的を射ている。振り返つてもみようと、土俵外とはいえ、傍若無人の振舞いで責任を問われて引退したのは朝青龍だったが、白鵬はといえればお見苦しい決まり手の挙句に、懸賞金の束を高々と誇示する有り様で、相手力士への敬意など微塵も窺えず、驕りの態度は増長するばかりだ。

白鵬が休場した場所の新聞紙上にこのような川柳が載っていた。

“今場所は見れない張り手猫だまし”という言うもので、指導力のない協会への皮肉が込められていたのだ。(2面につづく)

庄内地方の風文化 27 庄内の伝統風すみ風の謎に迫る(十二) 鈴木隆(小中島)

前号で清正の骨壺が丸岡の天澤寺で発見されたことを記したが、「どうして清正の遺骨が丸岡に？」と疑問を抱く人も多いと思われるので、鶴岡市史編纂委員の本間勝喜氏や「庄内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会」副会長、小

丸岡領34ヶ村名(庄内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会)	村名	旧市町	村名	旧市町
蛸井興屋	藤島町	飛鳥	砂越	平田町
平足	藤島町	大宮	酒田市	
川尻	藤島町	木川	酒田市	
鷺畑	藤島町	丸沼	酒田市	
東堀越	藤島町	局	酒田市	
上中野目	藤島町	落野目	酒田市	
大川渡	藤島町	田尻	余目町	
大口	羽黒町	廿六木	余目町	
市野山	羽黒町	堀場	余目町	
興屋	羽黒町	榎島	余目町	
谷地館	羽黒町	千川原	余目町	
中	羽黒町	深川	余目町	
塩田	榎引町	杉浦	余目町	
備前荒屋敷	榎引町	高田	余目町	
丸岡	榎引町	幕野内	藤島町	
備前	榎引町	東渡前	藤島町	

林良市氏の談、並びに史料などを基に紹介することとする。

肥後(熊本)五十四万石の清正が1611年に50歳で没し、嫡子忠廣は若千11歳で家督を継いだ。

1632年、忠廣31歳の時、幕府(将軍家光)より21万石からなる詰問状が届いた。

それは全く身に覚えのない罪状だったが、出府せよとの命に従った。

しかし、申し開きの場も許されないまま、肥後五十四万石の領地没収の上、忠廣は庄内に配流(流罪)となり、庄内藩酒井忠勝へ預かりの身となった。

忠廣は同年6月18日、生母(清正夫人)と家臣20名、従者70名、女中など総勢120余名とともに鶴岡に着いた。

酒井家は忠廣を丸岡城跡に新築した館に住まわせ、食扶持領として幕府から1万石を付与された。その丸岡領に属した村数は次の表に示す34ヶ村である。



忠廣母子の墓(鶴岡市三光町本住寺)

忠廣没後、丸岡領は没収され、家臣6名は庄内藩に召し抱えられ、忠廣の嫡子は酒田市新堀、加藤勘右衛門(当主醇氏)へ、女の子は鶴岡市大山の富二郎(栄光富士)に匿ったと伝えられている。

また、家臣や縁のある人も庄内にそのまま居留まったようだ。その中には旧羽黒町松尾や三川町加藤村に移住した人、また、国立がんセンター名誉総長の杉村隆氏(鶴岡市名誉市民)はその子孫である。

(1面からつづく)

民主主義と情報公開

窓は風を入れる為に作られた。英語でウィンドウというのはそのためだという。

鶴岡市役所には、開け放たれた窓など無いのかのように閉塞して暗く見える。

文化会館建設の諸問題に見られるように、民主主義の基本である情報公開度は低く、説明責任などは殆ど無いに等しく、文化都市とは相容れないありさまではないか。

安倍政権を支えるお役人たちが提出する文書の殆どが、黒く塗りつぶされていたように、国民には知られたくない情報が、山のように積まれているのだ。

そのような積年の悪しき体質を変えることが出来るのが選挙なのだから、子々孫々の為

にも貴重なチャンスと捉えるべきなのだ。

国政を分かりやすく解説して好評の池上彰氏は語っている。

「安倍政権は1000兆円を超す借金を作りながらその返済を諦めています」と。即ち、国民の財産を頂戴する腹つもりだと読める。

野田聖子総務大臣もまた、「金融緩和の出口を考えると、それ恐ろしい」と述べているが、どれほどの国民が国家

財政の破綻を想定しただろうか。

70%は国家が援助するのだから使わにゃソンソン(合併特例債)という自治体が多ければ、国家存亡の危機が速まるだけのことで話は簡単なのだ。

が、この国では真実を語る人間は極くわずかしかいないのだから、自らが学習するしか予知する術はない。

(高宮宏 つづく)

どんな子もその子らしく生きられるように、それが「子ども」と憲法

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

最近『保育と憲法―個人の尊厳について』(川口創弁護士共著を発行した保育園長・平松知子さん、川口さんから「9条も個人の尊厳あつてのことですよ」と言われ、「憲法って個人の尊厳を守るも

私はこれまで『民報

公益財団法人・藤島文化スポーツ事業団(熊本誠理事長主催による)みんなでフルマソン!」が10日、藤小グラウンドで開催されました。

42・195kmをチームを組んで4時間以内に完走しようというイベントで、今年で7回目。チームは人数が2〜40人の範囲で、小学1年生以上の男女や年齢など構成は自由。1人の走る距離(周回数)は自由に何回走っても良く、藤小グラウンド1周250mを168周+195m走ります。

今回は15チーム253人が参加。藤島で始まったこのイベントに、村山市からも視察が来ました。

みんなでフルマソン! 2017

～仲間とつながたすきリレー/世界記録に挑戦～



人道

「仲よきことばよきこと哉」とはある文豪の言葉と承知しているが、そう簡単なものではないようだ。事が不倫と呼ばれる事となれば事件となるのだ。

▲「不倫」を辞典で開くと人の道に反することと出ている。今回は、弁護士と国会議員が人の道に反することをしたということ、衆議院の解散が在るかも知れないとの報道になっている。不倫とは国政を動かす重大な事件なのだぞつた。

▲ことは、双方連れ合いがあり、子どもがいる家庭を持ちながらどつかに泊まったことが写真付きの記事だから言い逃れが出来ないト。これじゃ所属政党に迷惑になるからと離党になったトカ。

▲週刊誌が付け回るほど知られていたトカ。

が、その子が田圃に飛び込むように入ったのです。後はどんどん追いついて行きました。「その子はその子らしく生きる」憲法実践だったのです。

その晩の交流会で「待つことは辛かったけど大切な事ですね」と言い、お母さんは今回来て良かったと大喜びでした。

個人の尊厳を定めた憲法13条をよくかみしめ、生活に生かしていきたいものです。

政党の幹部が知らなかったのは隠れてするものだからネ。この世、同じようなことが多すぎませんか。人の道に反することが離党だけではないんだろつかネー。▲気持ちいいことをしたとはなっていないが、それでも総選挙になるかも知れないというのだ。しかし、金を貰いたい自分らが決めた「倫理規定」トヤラを守らないのも人の道に反していますよーだ。

▲よくあるのが「国からの金が入っている会社からは、一年以内は政治献金を貰ってはいけない」というヤツだ。その年でなければなぜ貰っていないのか?。でよく聞けるのが「一年以内だとは知らなかった」との言い訳。

▲あげく、返したから問題が無いとか、これは返さなくてもいいのだとか報道されるが、返金を誰か確認しているのだからかネー。(石川)